され、 名で18%である。 療については16名が申請 妊娠された方が3

〈監査事務局関係〉

れたのか。 員が不在の時があったが 今回、 代表監査委

つ 員が質疑を行い審査を行 要に応じて班長に監査委 議会選出の監査委員1名 表監査委員が辞職され、 による決算審査の執行と 答弁 6月30日付けで代 うことで、全課長、 必

〈農林水産部関係〉

している。ドローンの使は、バレイショ等で実施に水稲への補助を廃止後 多かったが、令和6年度布は、最初は水稲関係が 答弁 価と実績は。 で 散布普及支援事業補助金 てくると思うが、ドロー ンを活用された農家の評 スマート農業は増え ドローンの農薬散 農業用ドローン ₀

関して、 年度7件、 とで、 K 助金をもらわなくても、 る決算書であり、それにれた一般会計予算に対す 年度の3月議会に上程さ 【反対討論】 令和3年度約38h、令和 件となっている。面積は 令和3年度9件、令和4 にはいかない の決算書を認定するわけ し たためである。 これは水稲が一気に増え が増えている。 【反対討論】 4年度30h、令和5年度 た立場としては、 関係での修正予算を出 この決算書は、 増えている。実績は、ローンによる農薬散布 17 haと増えている。 水稲に関しては補 世界遺産センタ 令和5年度25 令和6 今回

は、 到底見込みが甘いという 産センター 言と同じで、 んだということであるが 先ほどの同僚議員の 14万人の誘客を見込 建設に対して この世界遺 発

用で楽になったというこ

にされて れば、 早 れ 7 に テライトオフィス補助金 ことが1点。2つ目はサ もして いたが、 いない。 ない。

であって刑事告訴を出せ届も出さない。刑事告発 る立場でもあるのに、そ うな思いでずっと質問し めに被害届を出してい ついて、返還がいまだ い方向にいくよ いまだに被害 さらに 市長が

高型条例、倫理規程に対 まる処分がなされてない。 まる処分がなされてない。 があることを指摘してお があることを指摘してお り、これも理由。4つ目、 旧給食センターの備品の 田給食センターの備品の になる。 す 4点を挙げて反対討論と 方を指摘している。 るような備品の処分の ンターを建ててもう5年 かもある。大きい給食セ な備品の処分の仕り、早めに利用でき

【賛成討論なし】

農林水産·建設委員長報告(概要)

議案5件を原案可決 認定2件を認定

いのか。 災害が発生した場合のみ **舎角** そのとおり。 ということで理解してい (討論はなく、 採決の結

原案可決)

(その他の案件)

〈環境水道部関係分〉

程度で、 える。 は対応が困難な時だと考 他非常の場合とは、どの 本市指定の工事店で 明確な規定はない この中で災害その どのような時か

原案可決)

ら補正を組んだのか、

そ

見積入札をしてか

れとも県から言ってきた

〈建設部関係分〉 会計検査院から指

のか。

結實果。 と 全が担保されているのか

(討論はなく、

を通さなければ、 が、 う。そこで、 との指摘ではないかと思 めの荷重に耐えきれない 摘を受けた有馬川 いのではないか。 緊急自動車を通すた 会計検査院からの 緊急自動車 問題な の件だ

うなるのか 設計の見直しが生じた。 いう点で指摘があり、 何もなかったらど 再度、見直しした

答弁 果、 実施する。 かったため再度、 強度の確認ができな 事前調査をした結 調査を

採決の結

原案可決)

採決の結

があり、

対象範囲を立ち

積算し金額

を設定した。 会った上で、

(討論はなく、

採決の結

原案可決)

答弁

県から移設の依頼

答弁

〈環境水道部関係分〉 今回の条例改正は

指摘は、 うよりも道路としての安 緊急自動車とい

(討論はなく、

新決算の認定に 開島原市下水道 第5号】令和6

末続浩二郎 委員

総務委員 長 報告(概要)

請願1件を採択 請議案5件を原案可決 請願2件を不採択

質疑 会計年度任用職員

団への職員派遣は。一質疑が企業誘致のたっ

区域

企業誘致のため財

る単価差がある。

の国道等からの距離によ 果、前回より上昇。

区域

内道路は市の整備か。

県産業振興財団へ

件があるが該当する。 答弁 会計年度職員も条 も該当するのか。 (討論はなく、 原案可決) 採決の結

討論はなく、

曲は。 県の鑑定評価の結

原案可決) 採

土地の

差質は疑 区域の単価差の理一前回購入単価との

う。 決の結果、 の説明と意思の確認を行 申し出た職員に対し制度 (概要)妊娠、出産等を

の職員派遣は検討中。 舎計画は。 財契約課で実施。 調査等は。 部を市で整備する。 で実施すべき。管理は管 調査とも一般的に建築側 (討論はなく、 原案可決) 地下埋設物·地盤 地下埋設物・ 所有後の管理 採決の結 地盤 _

かったのか。 共同購入は考えな 今後の購入

登計画は。 を実施。 の結果、 共同購入との検討 ソフトの関係か安価な単独調達

> 画している。 ら6年程度での更新を計

果、 推進班で講習会を実施。 後に講習会を実施。 舎弁

新規採用時・ (討論はなく、 原案可決) 講習会等の実施は。 採決の結 半年 D X

方法を模索する。 ランスを考えより安価な ており安価になる努力は。 〈会計課分〉 角 便利と手数料の 手数料が高くなっ

る。 生活環境創生交付金とは、 〈総務部関係〉 づく事業に国の支援があ 地域再生計画に基 新しい地方経済・

は今回計上分で終わりか 支援地方創生臨時交付金 **参 物価高騰対応重点** 物価高騰対策分は

答弁 今回全額計上した。 財源組替えは過疎

金減少。 答用

資路の財源は。 りか。

度中に使い切る計画。自 の補助と過疎債を充当。 転車歩行者専用道路は国 合併特例債は今年

採決の結果、

請願は不採

(討論はなく、 採決の結

審査のため請願者に出

し

(賛同理由)

議会として

し不信任決議を出

してほ 長に対

いない。議会は市

後、質疑を実施。 介議員の賛同理由の説明 (趣旨) 市民の大切な公

例債への組替えは県の過

疎債減額指示。

元金償還のメリッ

利息の軽減と後年度の元 繰上償還により、 る旨議会で告発するべき。かない。市長に弁償をす 7 ものに全額、委任払いし金を、仕事をしていない

いる。

許すわけにはい

自転車歩行者専用 合併特例債は終わ

介議員が必要であり、

ŧ

(賛同理由) 請願には紹

は不採択)

っともなことだと思った。

(質疑、討論はなく起立

総額は。 〈地域振興部関係〉 捐金を計上。会社清算時 職員の退職金、販売済み 真砂の清算は終了か。 に退職金が発生。 入浴券の清算等により出 修繕料は総計37 観光費の修繕料の 清算完了のため 出捐金の計上で

席要請し趣旨の説明、 紹

過疎債から合併特

の声に応える必要がある。 動かねばと思った。市民 (質疑はなく、 討論を行

った。)

発言】

成討論は控える (起立採決の結果、 反対討論がないため賛 請願

意見

に資金の要求をするもの 金が足りなくなるため国 向上のため職員が働く資 (意見の後、 住民サ ービス・ 討論を行 福祉の

(反対討論)

2号と同様。

審査の進め方は請願第

(趣旨) 市政は市民のた

市が

見ると反対。 大する南島原市の状況を である。建設事業費が増 に支障があるような文書 金が足りないから仕事

を行った。) (賛成討論はなく、 採決

市長の市政監視ができて

が多く無駄遣いが多い。

ざるを得ない。

大型事業

倒産するのではと心配せ めになっていない。

多数により請願は採択) (起立採決の結果、起立

〈環境水道部関係分〉